

第110回 CPD セミナー・公開講座・防災セミナー(愛媛)

四国本部 事業委員会副委員長

正岡 久典

Masaoka Hisanori



1. セミナーの概要

2026年6月6日(土)に、松山市「番町公民館」において、第110回CPDセミナー・公開講座・防災セミナーおよび第二次試験合格者祝賀会・懇親会を開催いたしました。

表1 プログラム

1. 開会(13:10~13:40)

開会挨拶

(公社) 日本技術士会四国本部

副本部長 岩佐 隆

四国本部および青年技術士委員会の紹介

(公社) 日本技術士会四国本部

広報委員 小椋 匡

2. CPDセミナー(13:40~14:40)

演題:『愛媛大学建築・社会デザインコースにおける土木・建築融合について』

講師:愛媛大学大学院理工学研究科

准教授 多田 豊 氏

3. 公開講座(14:50~15:50)

演題:『1895年開業の道後鉄道について』

講師:伊予史談会 会長 柚山 俊夫 氏

4. 防災セミナー(16:00~17:00)

演題:『避難所で感染を防ぐには? 基本と実践』

講師:人間環境大学 松山看護学部

講師 村上 早苗 氏

5. 技術士第二次試験合格者紹介(17:00~17:10)

6. 懇親会及び新合格者祝賀会(18:00~20:00)

(1)開会挨拶 四国本部事業委員 増田 信

(2)乾杯 四国本部事業副委員長 正岡 久典

(3)中締め 四国本部事業委員 藤田耕二

セミナー会場参加 69 名(内 Web 参加 8 名)・懇親会 45 名のご参加を頂きました。



写真1 セミナー会場の様子

1 開会

・開会挨拶

セミナーに先立ち、日本技術士会四国本部 岩佐副本部長より開会の挨拶がありました。



写真2 岩佐副本部長の挨拶

・四国本部および青年技術士委員会の紹介

四国本部広報委員会 小椋氏より、日本技術士会四国本部の紹介と、四国4県における青年技術士委員会活動について、具体的な活動内容を挙げてのご紹介がありました。



写真3 小椋委員による活動紹介

2 CPD セミナー 多田 豊氏

多田氏からは先ず自己紹介があり、博士号取得後に建設コンサルタント勤務を経て、徳島で一級建築士事務所を開業されたとのことでした。また「リフォームインスペクション」「活用できる応急仮設住宅」「事前復興まちづくり」などの研究成果についてご説明がありました。

その後は、阿南高专での教育活動を経て愛媛大学に移動し、現在は環境建設工学講座において研究・教育活動に取り組まれているとのことでした。

教育活動に関しては、R8年度より愛媛大学工学部に新たに設けられた「建築・社会デザインコース」についてご紹介がありました。

本コースは、土木・建築・都市にまたがる幅広い知識を習得し、現在の様々な社会的課題に対して包括的な未来を描ける技術者・設計者の育成を目指しているとのことでした。

また、旧カリキュラムでは一級建築士の受験資格が取れなかった点を見直し、受験資格に対応したカリキュラムも導入しているとのことでした。



写真4 多田氏の講演

3 公開講座 柚山 俊夫氏

引き続き公開講座では、「伊予史談会」会長 柚山敏夫氏より、1895年開業の道後鉄道についてご講演がありました。

柚山氏からは、技術士は建設部門が多いことへのご配慮から、数ある伊予史の中から「道後鉄道」をテーマに選定されたとのことがありました。

伊佐庭如矢により、道後温泉への温泉浴客を輸送する手段として設立された「道後鉄道」の時代背景、および鉄道敷設の請願書や免許状等について、文献資料や現在に換算した鉄道設計の数値等を挙げて分かりやすく説明していただきました。

明治当時の松山市の地図を基に、当時の路線図（一番町～道後ならびに道後～古町）や駅名変更の経緯などについて、現在にも残る路線による影響の名残なども交えた詳しい説明はとても理解が深まる内容でした。

また、夏目漱石の「坊っちゃん」にある汽車や料金の記述は、道後鉄道に概ね一致しており漱石も乗車していたのではないかとのことです。

柚山氏はときにユーモアを交えながら、身振り手振りで当時の道路事情や鉄道事情を解説していただきました。会場からはたびたび笑いが起き、あっという間に講演の時間は過ぎてゆきました。



写真5 柚山氏の講演

4 防災セミナー 村上 早苗氏

村上氏からは、巨大地震や豪雨災害等の災害発生後、避難所等で発生する災害関連死を防ぐための感染症対策に関してご講演をいただきました。

避難所での感染症の原因について、感染源から発症までの過程、感染源となるウイルス・細菌・

真菌といった代表的な病原微生物、多様な感染経路（接触感染、飛沫感染、空気感染）などについてご説明がありました。

また、避難所での基本的な予防対策である、手洗い、マスク着用、換気、ソーシャルディスタンスやゾーニング等について、感染経路と合わせた予防目的、予防方法のご説明がありました。

現実的な問題である「災害時におけるトイレ問題」は、避難所ではトイレの使用が制限されることから不衛生となりがちであるため、感染症対策としては手洗い、消毒、手袋が重要な予防策であるとのお話でした。



写真6 村上氏の講演

講演の中では、先生自ら実演を交えながら「マスク」「手指消毒」「手袋」の有効な装着方法についてのご説明があり、より効果的に学ぶことができたと思います。



写真7 手指消毒の実演

5 技術士第二次試験合格者紹介

難関の第二次試験、合格おめでとうございます。



写真8 第二次試験合格者

6 祝賀会・懇親会

セミナー後、祝賀会・懇親会が開催されました。

四国本部 増田事業委員の開会挨拶、四国本部 正岡事業副委員長の乾杯の音頭で始まり、約2時間の歓談の後、四国本部 藤田事業委員の中締め挨拶で閉会しました。



写真9 祝賀会開会挨拶



写真10 祝賀会の様子